

日本 YWCA 東日本大震災被災者支援活動報告

－女性と子どもの安全と安心のために－

日本YWCAは平和・人権・健康・持続可能な環境の諸課題に取り組む女性による国際NGOとして、女性と子どもたちに寄り添った、安全と安心が守られる被災者支援を中長期的な視野に立って取り組んでいます。

2011年3月11日の東日本大震災・津波・原発事故による被災者、ことに女性と子どもたちのニーズに応えるために、国内外のYWCAおよび他団体と協働しながら、女性と子どもの安心と安全のためをキーワードとして、中長期支援に取り組みました。2012年度の活動は以下の通りです。

■被災者受け入れのための住居支援 セカンドハウス

被災地から遠方への避難希望と近く安全な場所への避難希望を受けて、地域YWCAが紹介する住居・家庭に、福島県在住の乳幼児・子どもをもつ家族、高齢者、障がい者、40歳以下の単身女性、外国の方々を対象に、家族単位、子どもだけのグループなどでの利用を受け入れました。2011年度からの利用者数は、延べ46家族153人となりました。

2012年度夏 函館・東京・横浜・名古屋・神戸・松山YWCA 13家族

■こころと身体の保養プログラム

被災による大きなストレスを抱えている子どもやお母さんたちに、被災地を離れ、キャンプや観光等の楽しい時間の中で、こころと身体をリフレッシュしてもらうプログラムを、全国の地域YWCAが実施しました。

2011年度からの全国のYWCAが主催した保養プログラムの参加者数は、延べ670名となりました。

2012年度 夏の保養プログラム 札幌・函館・福島・東京・静岡・名古屋・京都・大阪・
神戸・広島・呉・福岡・熊本・日本YWCA

合計303名

2013年度 春の保養プログラム 大阪・京都・神戸

合計38名



■被災者と支援者へのこころのケア

今回の地震・津波・放射能汚染による被災地は広範囲に及んでいます。刻々と変化する状況を踏まえながら、ゆっくり丁寧に思いを聴きながら、寄りそった活動を大切にしています。

- ①仙台市・福島市を中心に、被災された女性や子ども、高齢の方へのこころのケア
- ②支援するボランティアへのこころのケア



■福島県相馬郡新地町での活動

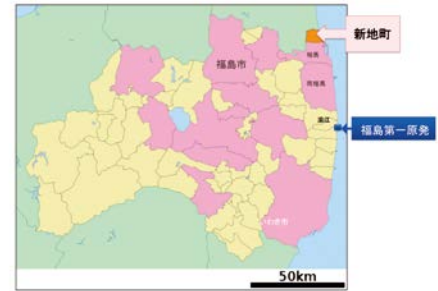
2011年4月末から8月まで「新地町災害ボランティアセンター」にボランティアコーディネーターをのべ40名派遣しました。その後は、新地町教育委員会や新地町社会福祉協議会と連携し、特に子どもたちへのケアを継続しています。

①電話による子どもたちへの心のケア

名古屋YWCAによるテレビ電話相談と出前ワークショップの実施

設置箇所

新地町3小学校、名古屋YWCA、新地町教育委員会、文部科学省(計6台)活用
小学校側の担当は養護教諭。子どもたちへの傾聴および関係者による
スカイプ会議。難しいケースがあった場合のフォロー等については養護教諭、
スクールカウンセラーと連携する。



②学習支援活動「テラ小屋」

毎月1回～2回土曜日に新地町立図書館視聴覚室において、
ボランティア講師による学習支援活動を実施しました。



③仮設住宅居住者支援

京都YWCA・東京YWCA等が町内の仮設住宅の集会所で
プログラムを行いました。
また、居住者が集会所で手作りしたグッズの販売をしました。



④保養プログラム

地域YWCA主催で、新地町民親子や放射能被災者を対象に
保養プログラムに招待しました。

⑤YWCA合同クリスマス会in新地町



2012年12月、新地町支援に関わる地域YWCAが集まり、合同クリスマス会を尚英中学校音楽室で開催しました。それぞれの地域YWCAのプログラムに参加した新地町の人々が初めて横につながりました。集会后、保護者会を開催し、保護者から子どもたちの近況や今後のYWCAの取り組みについて意見をいただきました。

⑥尚英中学校全校生徒震災体験記のデータ入力と英語翻訳作業

津波被害のわずか3ヶ月後、尚英中学校の生徒たちは「その日」のことを作文に書きました。YWCAは、ボランティア約60人によって、中学生256人の震災体験記の手書き作文のデータ入力、さらに全員分を英語翻訳しました。これを読んだ2校の中高YWCAから掲載作文を推薦してもらい、日本語・英語対訳版『震災体験記』が完成しました。



■ 福島市に活動スペースを開設

2012年10月、JR福島駅の近くにYWCA活動スペース「カーロふくしま」を開設。福島に住む女性や子どもの交流の場として、プログラムを実施しています。

- 市民の活動の場として無料開放
- 行政とのタイアップによる避難／再就職の研修の場として
- 母と子を支える心のケア、保養の場として
- 正しい放射能情報を得る場として
- 被災者支援プロジェクト「チーム福島」による、フィールドワークの開催
- 福島移住女性支援ネットワークとの連携による外国人女性のための日本語サロン、セミナーの共同企画



フィールドワーク
除染土の仮置き場見学



福島訪問プログラム
果樹園訪問



日帰り保養プログラム



ジェンダーに関する研修／
情報交換

これからもともに歩む ～ com7300 ピーチリボンキャンペーン（2013年4月～2014年3月）



「com7300」とは？ 「com」ラテン語で「ともに」の意 「7300」20年を日数に換算

東京電力福島第一原発事故は日本の歴史上にない最悪の人災です。女性団体として、大きな精神的・物理的・身体的被害を受けている「女性や子ども」を見逃ごせません。放射能被害は「ふくしま」という地域に限定された問題ではありません。YWCAは放射能被災地と被災者との連帯を、2011年3月から20年間関わり続けるという決意から「com7300委員会」を設置、地域YWCAと協力を得て、これからもともに歩み続けます。

2013年度の主な活動

- ◆ **セカンドハウスプログラム** 地域YWCAのサポートのもと、神戸、名古屋、横浜地域に3軒の家を借り上げ、一年間いつでも使用可能。放射能被災者に提供し、移動交通費の補助をします。
- ◆ **保養プログラム** 地域YWCAを企画するリフレッシュプログラムのサポート
- ◆ **YWCA活動スペース「カーロふくしま」での女性、子ども支援プログラム**

日本YWCA被災者支援プロジェクト会計報告

2013.3.31 現在

	期間	内訳		金額(円)
	2011.3.18~2012.3.31	募 金		7,647,558
2010 年度入金合計(A)				7,647,558
2011.4.1 ~ 2012.3.31	募 金		23,873,391	
	協力金	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議	3,155,000	
	助成金	赤い羽根中央募金会第2次助成(前期) ドイツプロテスタント教会社会奉仕協会	10,621,500	
2011 年度入金合計(B)				37,649,891
	募 金	個人 178 件	6,650,879	
		地域YWCA・団体・教会等 60 件		
		学校(同窓会含む) 9 件		
	助成金	赤い羽根中央募金会第2次助成の精算	622,641	
		ドイツプロテスタント教会社会奉仕協会(第3期分/前期)	3,742,500	
		ドイツ教会(2013 年度保養プログラムへ)	1,165,936	
NCC JEDRO		650,000		
	豊中市雇用創出基金(2013 年度カーロスタッフ研修のため)	2,127,783		
2012 年度入金合計(C)				14,959,739
入金総合計(2011.4.1~2013.3.31)		(A)+(B)+(C)	60,257,188	
	内訳		金額(円)	
2011 年度支出合計(ア)				27,103,547
保養プログラム				15,646,556
「リフレッシュプログラム」			13,478,040	
「セカンドハウスプログラム」			2,168,516	
福島市を拠点とした支援活動(チーム福島)				7,341,107
こころのケア			63,660	
「カーロふくしま」ドイツ助成対象経費			2,970,347	
「カーロふくしま」豊中市助成経費			3,163,641	
「カーロふくしま」助成金対象外経費			472,692	
その他諸経費			670,767	
福島県相馬郡新地町を拠点とした支援活動				308,261
小学校テレビ電話相談			0	
尚英中学校補習授業			100,000	
尚英中学校震災体験記データ化および翻訳			0	
その他諸経費			208,261	
仙台 YWCA 復興支援室「こころの社」				940,173
こころのケア講座・講師交通費			223,100	
その他諸経費			717,073	
その他諸経費				1,152,770
2012 年度支出合計(イ)				25,388,867
支出総合計(ア)+(イ)			52,492,414	

※ 入金累計(60,257,188)-支出累計(52,492,414)=2012 年度末募金残高 7,764,774

※ 2013 年度に入金予定の助成金額 **4,838,214**
 豊中市雇用創出基金(2013 年 2 月分 456,120 円・3 月分 636,094 円) 1,092,214
 ドイツプロテスタント教会社会奉仕協会(第3期分/前期) 3,746,000

募金のお願い

2013年度も保養プログラムをはじめ、セカンドハウスプログラム、カーロふくしま運営に多くの資金が必要です。引き続き、ご協力をお願いいたします。

募金のお振り込み先

郵便振替 00170-7-23723 公益財団法人日本YWCA 通信欄に「被災者支援募金」とご記入ください。